

対策方法	なし	マスク	フェースシールド	マウスシールド
対症効果	なし	マスク	フェースシールド	マウスシールド
ばき出し飛沫量	100%	20%	18~34%	50%
眼に近い飛沫量	100%	30%	55~65%	60~70%
小さな飛沫(エアゾール)に対しては効果なし				



高柴 正悟 先生

10月22日に高柴正悟岡山山大学教授の「コロナ禍での歯科医療と口腔ケア」の講義をオンラインで視聴しました。

この2年の間にオンラインのセミナーが増えました。今まで遠方の講習会に行っていたことを思

10月22日(金)、高柴正悟先生(岡山大学歯学部 薬学域教授)を講師に、歯科・歯科オンライン研究会「コロナ禍での歯科医療と口腔ケア」をWeb配信限定で開催し、17医療機関から27人の参加がありました。以下、参加者からの報告です。

# コロナ禍での歯科医療と口腔ケア

医科・歯科オンライン研究会

# 佐賀県保険医新聞

発行所  
佐賀県保険医協会  
佐賀市駅前中央1-9-45  
(大樹生命佐賀駅前ビル4F)  
電話 0952(29)1933  
FAX 0952(23)5218  
HP <http://saga-doc.jp>  
E-mail [hoken-i@star.saganet.ne.jp](mailto:hoken-i@star.saganet.ne.jp)  
購読料 1部 200円  
送料込 年間2,400円  
(会員の購読料は会費に含まれています)

オンラインで高柴先生(右下)の講演が行われた

うと、自宅で最新の知見を得られるセミナーを受けることができるようになります。時間も費用も節約できるため、ありがたいことではあります。

講演では、ACE2タンパクが口腔粘膜にも存在すること、デンタルブラークからSARS-CoV-2が検出されるということ、口腔を清潔に保つことが重要であるということを示されました。また、ソーシャルディスタンスについて、マスクの有効性や有害作用についてもさまざまなデータを示してくださいました。鹿児島の高柴先生が行った、マスク着用時はマスク内の酸素濃度や血中酸素飽和度は変化がないが、マスク内の温度や湿度が上昇し、マスク着用により日常生活でも熱中症のリスクが上がるという実験結果は興味深く、患者さんに教えてあげたいと思いました。

後半で、日本の人口動態の変化と社会保障についてのお話がありました。グラフによれば、今後の日本は驚くほど50歳以下

10月22日の高柴正悟岡山山大学教授の「コロナ禍での歯科医療と口腔ケア」の講義をオンラインで視聴しました。

この2年の間にオンラインのセミナーが増えました。今まで遠方の講習会に行っていたことを思

講演では、ACE2タンパクが口腔粘膜にも存在すること、デンタルブラークからSARS-CoV-2が検出されるということ、口腔を清潔に保つことが重要であるということを示されました。また、ソーシャルディスタンスについて、マスクの有効性や有害作用についてもさまざまなデータを示してくださいました。鹿児島の高柴先生が行った、マスク着用時はマスク内の酸素濃度や血中酸素飽和度は変化がないが、マスク内の温度や湿度が上昇し、マスク着用により日常生活でも熱中症のリスクが上がるという実験結果は興味深く、患者さんに教えてあげたいと思いました。

講演では、ACE2タンパクが口腔粘膜にも存在すること、デンタルブラークからSARS-CoV-2が検出されるということ、口腔を清潔に保つことが重要であるということを示されました。また、ソーシャルディスタンスについて、マスクの有効性や有害作用についてもさまざまなデータを示してくださいました。鹿児島の高柴先生が行った、マスク着用時はマスク内の酸素濃度や血中酸素飽和度は変化がないが、マスク内の温度や湿度が上昇し、マスク着用により日常生活でも熱中症のリスクが上がるという実験結果は興味深く、患者さんに教えてあげたいと思いました。

【参加者アンケートより】  
(一部抜粋)  
最新の知見を得ることができ、とても勉強になりました。  
(歯科医師)  
コロナ流行当初は歯科治療は感染リスクが高い噂があり、診療を控える患者が見受けられたが研究会に参加して歯科医療からの感染リスクは低く、口腔ケアにより予防から生涯の健康へつながることが改めて分かりました。  
(歯科衛生士)

講演では、ACE2タンパクが口腔粘膜にも存在すること、デンタルブラークからSARS-CoV-2が検出されるということ、口腔を清潔に保つことが重要であるということを示されました。また、ソーシャルディスタンスについて、マスクの有効性や有害作用についてもさまざまなデータを示してくださいました。鹿児島の高柴先生が行った、マスク着用時はマスク内の酸素濃度や血中酸素飽和度は変化がないが、マスク内の温度や湿度が上昇し、マスク着用により日常生活でも熱中症のリスクが上がるという実験結果は興味深く、患者さんに教えてあげたいと思いました。

講演では、ACE2タンパクが口腔粘膜にも存在すること、デンタルブラークからSARS-CoV-2が検出されるということ、口腔を清潔に保つことが重要であるということを示されました。また、ソーシャルディスタンスについて、マスクの有効性や有害作用についてもさまざまなデータを示してくださいました。鹿児島の高柴先生が行った、マスク着用時はマスク内の酸素濃度や血中酸素飽和度は変化がないが、マスク内の温度や湿度が上昇し、マスク着用により日常生活でも熱中症のリスクが上がるという実験結果は興味深く、患者さんに教えてあげたいと思いました。

講演では、ACE2タンパクが口腔粘膜にも存在すること、デンタルブラークからSARS-CoV-2が検出されるということ、口腔を清潔に保つことが重要であるということを示されました。また、ソーシャルディスタンスについて、マスクの有効性や有害作用についてもさまざまなデータを示してくださいました。鹿児島の高柴先生が行った、マスク着用時はマスク内の酸素濃度や血中酸素飽和度は変化がないが、マスク内の温度や湿度が上昇し、マスク着用により日常生活でも熱中症のリスクが上がるという実験結果は興味深く、患者さんに教えてあげたいと思いました。



## 歯科新規開業医講習会

### 個別指導時の心構えとカルテ記載の充実



千葉 研介 常任理事



進 武彦 常任理事



新井 良一 副会長

11月18日(木)佐賀市アバンセにて、当協会の新井良一副会長、進武彦・千葉研介各常任理事を講師に、「歯科新規開業医講習会」を開催し、4医療機関から4人の参加がありました。以下、参加者からの報告です。

歯科医師となり十数年がたち、親族の診療所を承継することとなり今回の歯科新規開業医講習会を受講しました。これまでも多くの時間を大学病院の専門外来で勤務し、退職後も非常勤でいくつかの歯科医院で勤務をしておりました。いろいろな所で歯科診療をしていたので、カルテ記載は行っていたのですが、新規指導をこれから受けることになるので、これまでの記載内容に不安もあり、申し込ませていただきました。

講習会は温かい雰囲気でした。講師は保険指導の実態から日常診療の留意点、歯周治療のガイドライン、カルテ記載例など盛りだくさんでした。これまでのカルテ記載は勤務先のやり方に合わせて、紙・レセコンの併用や電子カルテなど動める先々のいろいろな方式で記載してました。自分ではこれで満足なつもりでしたが、受講してみたら、自分と比べてみると、自分の記載内容がまだまだ不足していることが分かりました。この点数入力をルーティンで行っていたただけで、

**保険医休業保障共済保険**  
**加入・増口申込受付**  
**締切迫る!**  
※詳細は5面共済部より参照

と痛感しました。また、歯科の保険治療をやるにあたり、「歯科点数表の解釈(社会保険研究所発行書籍)」の重要性も再認識しました。これまでほとんど手に取ることなかったもので、これからは診療室で疑問があればすぐに読み返すようにしたいと思います。

講師の先生方、診療後に遅い時間までご指導いただきありがとうございました。事務局の方々も丁寧に対応していただきました。これからの開業準備に向けてとても有意義な講習会でした。(studs)

協会会員数

医科	659人
歯科	334人
合計	993人

(10月31日現在)

## 主な記事

- 災害対策全国交流会 2021..... 2面
- 第31回 保団連 九州ブロック地域医療交流会in長崎、九州ブロック会議..... 3~4面
- 労働管理「産後バ育休制度の創設」..... 5面
- 経営財務「改正後の所得拡大税制について」..... 6面

今夏のオリンピック・パラリンピックが開催され、第5波と言われる新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている。現在、全国的に落ち着いている。ワクチン接種が進んだためなのかが分かったことからは分かっていないことを願っている。お隣の韓国では、1日の新規感染者が過去最高を記録している。世界的に見てもこのまま収束するとは思えない。また、新興株の「オミクロン」も見つかり、まだまだこの戦いは続く。3回目のワクチン接種が決まり、スタッフに接種券が届いた。日本では、この年末年始の感染状況次第で全国でGoto Tourが再開する予定も発表された。飲食店や宿泊施設など、今までに経験のない減収で大変だと思ふ。佐賀県では、佐賀支え愛宿泊キャンペーンで補助を受けて宿泊できるキャンセルペーンが続いているが、使えなくなるほど補助金を頂けるシステムと感じつつも、宿泊施設やクーポン券でお店の応援ができるので県内宿泊を満喫しながら利用している。▼さて、地球温暖化の影響も、もう11月下旬(執筆時)というのに、まだまだ寒さを実感できない日々が続いている。昼間の車内はほんのり暖かい。会議もオンラインが多く、なるべくと人々との生活が続く。早く以前のようない生活ができることを願う毎日である。(ぬいぐるみりき)